

景観チェックシート（大通り地区）

（第1面）

※ 基準及び配慮した事項にレ点を入れ、その内容を記入してください。

項目	基準及び配慮事項	配慮した内容
建築物・工作物等	形態	
	色彩	

□ 大通りに面する1階部分には、商業店舗やサービス施設、ショールーム等を配置し、ガラス張りなど開放的な造りとするよう努める。

□ シャッターを設置する場合は、シースルーシャッターとするよう努める。

□ 建築物の屋根・外壁の色彩は、池上町地区においては別表4，馬場・大工町・宮の橋地区においては別表5のとおりとする。

別表4（池上町地区）

	区分	色相	明度	彩度
建築物等の色彩	基調色 (屋根)	YR(黄赤), Y(黄)	—	3以下
		R(赤)	—	2以下
	基調色 (外壁)	YR(黄赤), Y(黄)	6以上	3以下
		R(赤)	6以上	2以下
準基調色 (外壁)	YR(黄赤), Y(黄), R(赤)	—	8以下	

別表5（馬場地区，大工町地区，宮の橋地区）

	区分	色相	明度	彩度
建築物等の色彩	基調色 (屋根)	YR(黄赤), Y(黄)	—	3以下
		R(赤)	—	2以下
		BG(青緑), B(青)	—	1以下
		P(紫), PB(紫青) RP(赤紫)		
	基調色 (外壁)	YR(黄赤), Y(黄)	6以上	3以下
		R(赤)	6以上	2以下
		BG(青緑), B(青)	7以下	1以下
		P(紫), PB(紫青) RP(赤紫)		
	準基調色 (外壁)	YR(黄赤), Y(黄), R(赤)	—	8以下
		BG(青緑), B(青)	—	6以下
		P(紫), PB(紫青) RP(赤紫)		

※ 無彩色については、明度6以上とする。

※ 基調色とは、屋根の概ね全体，外壁の概ね3/4（75%）を超える割合で使用される色彩とする。なお，外壁に自然素材を使用する場合は，基調色の割合に含む。

※ 準基調色とは，外壁の1/4（25%）以下の範囲で使用される色彩とする。なお，準基調色の割合のうち，アクセントカラー（準基調色の適用範囲を超える色彩）として，外壁の1/20（5%）以下の範囲において用いる場合は，この限りではない。

項目		基準及び配慮事項	配慮した内容
建築物・工作物等	形態意匠 その他の意匠	<input type="checkbox"/> 大通りに面する低層階（1～2階）の歩道から見える外壁等の一部に、大谷石を使用する。 <input type="checkbox"/> 池上町地区 大通りに面する建築物のファサードの一部に、懐かしさを感じるレトロ調のデザインを取り入れる。 <input type="checkbox"/> 馬場地区 馬場通り交差点部の角地においては、賑わい空間の創出に努める。 <input type="checkbox"/> 宮の橋地区 田川に面した建築物は、田川側の壁面のデザインを建築物の背面的なデザインとしないよう努め、田川沿いの魅力ある景観の形成に努める。	
	建築物の壁面の位置	<input type="checkbox"/> 大通りに面する1階部分の壁面は、大通りの道路境界から後退するよう努め、緑による潤いづくりなど、快適な空間の創出に努める。 <input type="checkbox"/> 大通りに面する中高層階（3階以上）の壁面位置は、周辺の壁面位置と調和するよう努める。	
	日よけテント	<input type="checkbox"/> 大通りに面する建築物で日よけテントを設置する場合は、地区ごとに定めた意匠とするよう努める。	
	照明	<input type="checkbox"/> 大通りに面する低層階（1～2階）や広場（オープンスペース）は、ライトアップ等の夜間景観に配慮した照明の設置に努める。 <input type="checkbox"/> 馬場地区 バンバ広場及びその周辺では、シンボリックなライトアップやイルミネーションを行うよう努め、賑わいと魅力ある夜間景観の創出に努める。	
	設備機器	<input type="checkbox"/> 室外機等の設備機器は、大通りから直接見えないよう目隠し板等により遮蔽する。 <input type="checkbox"/> 宮の橋地区 室外機等の設備機器は、大通り及び田川から直接見えないよう目隠し板等により遮蔽する。	
平面駐車場	<input type="checkbox"/> 大通りに面して駐車場を設置する場合は、大通りに面する部分の緑化を行い、工作物等は周辺と調和した色彩とする。		
緑の保全・緑化	<input type="checkbox"/> 大通りに面する1階部分や広場（オープンスペース）は、花や低木等にて緑化を行い潤いある景観を形成する。		
その他	市全域の景観計画の届出対象行為（以下「大規模行為」という。）に該当する建築物及び工作物については、上記の基準のほか、大規模行為の制限内容（上記制限内容を除く。）についても遵守する。		

【大規模行為の配慮事項】

※ 配慮した事項にレ点を入れ、その内容を記入してください。

項 目		配慮事項	配慮した内容
建 築 物	外部 空間	エントランス	<input type="checkbox"/> 開放的な空間とし、できるだけ植栽やモニュメントなどを設置し、ゆとりと潤いを創りだす。
		駐車場 サービスヤード	<input type="checkbox"/> 周囲に生け垣、腰壁等を設置するなど通り沿いの快適さを保つ。 <input type="checkbox"/> 立体駐車場は建築物と一体的なデザインとし、街並みに調和させる。
		敷地の境界部	<input type="checkbox"/> 塀、柵などは、生け垣や透視性の高い素材を使う。 <input type="checkbox"/> シンボルツリー、草花、水面などの季節感を表す緑化修景を行う。
	建築 要素	外階段	<input type="checkbox"/> 建築物本体との一体感や調和を考慮したデザインとする。
		窓・バルコニー	<input type="checkbox"/> 手すりやルーバーなどは不透明や半透明のものとするなど、建築設備類や洗濯物などを通りから直接見えにくくする。
		建築設備類	<input type="checkbox"/> 設備類は建築物本体に組み込むデザインを行い、また地上に設置する場合はルーバーやパネルで覆い、直接見えにくくする。
	附属 施設 等	広告物 サイン類	<input type="checkbox"/> 大きさ、色、形状などに配慮し、建築物との一体性を考慮したデザインとする。
		屋内照明	<input type="checkbox"/> 商店街等は、夜間に歩行者が賑わいや楽しさを感じられるような照明を工夫する。
	工 作 物	広告塔、広告板 高架水槽、擁壁等	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和した位置、規模、色彩及びデザインとする。
開 発 行 為		<input type="checkbox"/> 既存の樹木・地形などの自然条件を活かす工夫をする。 <input type="checkbox"/> 建物等の周辺やのり面は、樹木や草花で緑化を図り、四季の演出をほどこし、潤いを創りだす。	